

# サーサナ

第38号 仏暦2560 (西暦2017) 年3月7日

---

## 少欲知足の社会へ

ホセ・ムヒカさんは2010年から2015年までウルグアイの第40代大統領だった方です（現在は国会議員）。報酬の大部分を福祉団体に寄付し、30年間同じ車に乗り続け、大統領官邸を拒み、三部屋だけの古い農場で暮らし続けています。その質素な生活ぶりから、「世界で最も貧しい大統領」として有名になりました。2012年にブラジルで開かれた「持続可能な開発会議」（リオ会議）での演説は「世界で最も衝撃的なスピーチ」と評されています。

彼の演説の一部を紹介します。

「ドイツ人が一世帯で持つ車と同じ数の車をインド人が持てばこの惑星はどうなるのでしょうか。息するための酸素がどれくらい残るのでしょうか。同じ質問を別の言い方ですると、西洋の富裕社会が持つ同じ傲慢な消費を世界の70億～80億人の人ができるほどの原料がこの地球にあるのでしょうか？可能ですか？(...) なぜ私たちはこのような社会を作ってしまったのですか？市場経済の子供、資本主義の子供たち、即ち私たちが間違いなくこの無限の消費と発展を求める社会を作ってきたのです。（...）このような残酷な競争で成り立つ消費主義社会で「みんなの世界を良くしていこう」というような共存共栄の議論はできるのでしょうか？どこまでが仲間どこからがライバルなのですか？ (...) 人類はこの大きな消費主義社会をコントロールできていません。逆に、人類がこの消費社会にコントロールされているのです。私たちは発展するために生まれてきているわけではありません。幸せになるためにこの地球にやってきたのです。」

日本では戦後ひたすらに経済成長を追及し、生活を豊かで便利にしてきました。しかしその結果、私たちは幸せになったといえるのでしょうか。生活スタイルを見直す時期に来ているのではないのでしょうか。石器時代に戻れ、というのではありません。無欲になれ、というのでもありません。しかし欲望をコントロールする必要があります。ムヒカさんはそれを政治の課題だとしています。

いっぽう、仏教では「少欲知足」という価値観を伝統的にもっていました。その「少欲知足」を個人の心がけで終わらせるのではなく、国際社会全体の課題として広めて行く必要があるのではないのでしょうか。経済至上主義ではなく、教育・文化・芸術が充実した社会にしたいものです。必要なのはモノやお金ではなく、幸福なのです。

## 法要行事のご案内

各法要・行事に必要な勤行本は、お持ちでない場合は当寺より進呈または貸与いたします。念珠は必ずご持参ください。また肩衣の着用を推奨します。肩衣とは浄土真宗の仏事における正装で、本山また当寺でも授与することができます。

### 三月 春彼岸会

彼岸（ひがん）は此岸（しがん）に対することばで、悟りの世界のこと、すなわち浄土の別名です。経典に「西方極楽浄土」とあることから、太陽が真東から昇り真西に沈む春分・秋分の日に、沈む太陽を見ながら浄土に思いをはせたのが由来です。

- ❖日時 3月20日（月）午後2時～4時  
受付開始は午後1時半
- ❖内容 勤行（観無量寿経訓読、正信偈）、法話（住職）
- ❖持ち物 勤行本『真宗法要聖典』『正信偈同朋奉讃』
- ❖記念施本 『てらす（遍照）』（仏教伝道協会）

### 四月 花祭りコンサート

花祭りは、お釈迦様の生誕をお祝いする行事で、甘茶を誕生仏に注ぎます。これを灌仏（かんぶつ）といいます。

「花祭りコンサート」は、毎年好評をいただいています。今年も小島千加子さんによる演奏を予定しています。

- ❖日時 4月8日（土）午後2時～4時  
午後2時より受付開始と灌仏
- ❖内容 第一部（2時半～）法要  
（嘆仏偈・念仏和讃）  
第二部（3時～）コンサート  
（ピアニスト 小島千加子さん）
  1. 仏教讃歌
  2. ピアノソロ
  3. みんなで歌おう（以上の曲目は未定）
- ❖持ち物 勤行本『大谷派勤行集』
- ❖記念品 紅白薯蕷饅頭
- ❖甘茶は、本堂内でご自由にお飲みいただくことができます。



## 五月 永代経

子々孫々、永代にわたって、浄土三部経が読誦され、仏法が伝えられることを願いとする法要。御懇志を頂いたお方の法名を記した掛け軸をお掛けします。（「永代経」という名前のお経があるわけではありません。）

なお、永代経のご懇志については随時受け付けています。

- ❖日時 5月25日（木）午前10時～午後3時  
受付開始は午前9時半より
- ❖内容 勤行（無量寿経・阿弥陀経訓読、正信偈）、法話（石原和久師）
- ❖持ち物 勤行本『正信偈同朋奉讃』『真宗法要聖典』
- ❖お斎（昼食）接待があります
- ❖記念品 特製ボールペン

## 六月 帰敬式（おかみそり）

帰敬式は仏教徒（真宗門徒）になるための儀式です。仏教に帰依したことを名実共に証するもので、受式することにより法名が授与されます。法名は「死んだ人の名前」ではなく、仏教徒としての名前（名告り）です。

- ❖日時 6月28日（水）午前11時～正午
- ❖受式費用 20,000円（うち10,000円は本山礼金）講習会当日お納め下さい
- ❖申込方法
  - ・5月末までに、電話、メールなどにより、仮申込みをしてください。
  - ・下記の講習会には必ずご参加下さい。
- ❖講習会
  - ・6月18日（日）午後1時～4時半
  - ・仏教の基礎的教義や浄土真宗の成り立ちについて住職が講義します。
  - ・既に受式済の方も講習会を無料で受講することができます。ただし事前にお申し込み下さい。
- ❖記念品を用意いたします。
- ❖法名に希望の文字があれば、御相談に応じます。

## 清掃・おみがき奉仕

皆様方のご奉仕をお願いしております。終了後はお茶とお菓子でおくつろぎ下さい。

- ❖5月12日（金）午前9時～11時 仏具磨き
- ❖6月12日（月）午前8時～9時 境内草取り（雨天中止）

## 永代経懇志お礼

下記の方々から永代経懇志を頂戴いたしました。ここにあらためてお礼申し上げますと共に、今後とも法義相續されますことをお願いいたします。

2016年11月17日 釋誠伸（願主・一川様[瑞穂区惣作町]）  
2017年1月5日 慈光院釋尼妙洋（願主・福島様[天白区梅が丘]）

## 会費の納入について

会費の期限切れの方は、更新をお願いします。1年で1000円ですが、事務軽減のため、複数年を納入していただけるとたすかります。  
郵便振替00880-4-68473「教心寺」、または現金手渡しで。

## 教心寺ライブラリーから (5)

当寺ライブラリー（書庫）は、どなたもご利用いただけます。

『世界で最も貧しい大統領 ホセ・ムヒカの言葉』

（佐藤美由紀、双葉社、2015年）

「貧乏な人とは、少ししかものを持っていない人ではなく、無限の欲があり、いくらあっても満足しない人のことだ。」

本号冒頭で紹介したホセ・ムヒカさんの演説やインタビュー記事から名言を選び出し、彼の行動と思想をうきぼりにしていきます。ほんとうの豊かさとは何か、人生でもっとも大切なことは何か、を考えさせられます。

また、次の本は同じテーマ（貪欲・消費主義）について現状を分析し、仏教が社会を変える可能性について論及しています。

『貪欲に抗する社会の構築』

（駒井洋、明石書店、2010年）

---

真宗大谷派 教心寺（名古屋教区第30組）

編集発行人 釋眞弍（山口眞一）

468-0026 名古屋市天白区土原3丁目205番地

電話：801-1381 FAX：807-1198 電子メール：kyosin@nagoya30.net

URL <http://www.nagoya30.net/temple/kyosin/>

---